**世界一美しいロケットが行うを守る取り組みについて**

**JAXAセンター**

**１．提案のきっかけとなった経験**

　JAXAのセンターは、南国のい緑、白い、青い海に囲まれており、世界一美しいロケットと言われている。ここには様々な生き物がらしていて、の変化に非常にびんかんな生き物もいる。

センターでは化学物質を使用していたり、打上げなどの作業に使ったあとの少しよごれた水が発生したりする。そこで、この美しいを守っていくため、また地球を守るための取り組みが必要と考えた。

以上のことから、センターでは、次のことを提案する。

**２．提案すること**

（１）きけんな物や使ったあとの水をそのまま流さない

　美しいを守っていくために、化学物質がもれないよう適切にし、使ったあとの水はきれいな水にしてから流すことを提案し、実行している。

　これらを行っていくことが、ロケットを打ち上げる種子島宇宙センターの責任であり、地球の保護にもつながると考えたからだ。

　具体的には、次のような内容を行っている。

* フロンの

ロケットの部品をったり、ロケットや人工衛星の温度を調節したりするためにフロンという化学物質を使っているが、フロンが外へもれてしまうと地球の周りにあるオゾンのにつながってしまう。そこで、きちんと手順を定めて適切にする。

* 打上げで使ったあとの水をきれいに

また、ロケットの打上げ時には、打ち上げる地点で水をまき、ロケットのや音をえたり、ロケットのエンジンが出すの温度を下げたりしてロケット本体がを受けないように調整している。打上げ時に使ったあとのこの水は一か所に集め、きれいにしてから流す。

ロケットでに運ばれた人工衛星は、カーナビや衛星放送、通信、気象観測、災害観測などに使われている。このように、ロケットや人工衛星は社会のらしを支え、日常生活にかかせないものとなっている。地球の保護にしながらこれらロケットの打上げを確実に行っていくことが、の責務であり、そうすることで、みんなのらしを安全で、かにできると考える。